

第二六六回松山市観光俳句ポスト

第266回開函

老鶯や文字の薄れし子規の句碑

広島県福山市 田村 祐巳子

登り来て松山城の風涼し

東京都三鷹市 野崎 守英

水蓮と語らふがごと春の雨

東京都中野区 早川 治子

動物園跡の真赤な椿かな

埼玉県志木市 藤田 良

声高に母との会話遠蛙

東京都目黒区 森 真澄

石手寺に五月雨傘をたたみけり

兵庫県神戸市 山中 阿木子

国宝の仏像見えず木下閣

兵庫県神戸市 米口 幸子

素手で掃く子規の句碑の辺夏落葉

兵庫県神戸市 島崎 すずらん

(市内)

新緑に黄色い声がこだまする

愛媛県松山市 岡野 真吾

推敲は堂々巡りに蟻地獄

愛媛県松山市 金井 ひとみ

ふりむけば夕日の中の花ふぶき

愛媛県松山市 関家 都

入選二十句

いつまでも母が見送る薄かな

福岡県北九州市 東 泰

さりげなく池に差したる八重桜

長野県北佐久郡 荒木 久美子

風薫る路面電車に手を振れば

兵庫県神戸市 上岡 あきら

一行の賑やかに過ぐ若葉雨

兵庫県赤穂市 木谷 和美

石垣にたたずみ浴びる花吹雪

神奈川県横浜市 呉 潤栄

ため池の水満々と麦の秋

兵庫県洲本市 高野 さち

夏休み孫は来てよし帰ってよし

愛媛県八幡浜市 高野 友子

城垣の反り美しき桜かな

埼玉県さいたま市 武居 智美

(十五歳以下)

あじさいが雨の中でわらってる

愛媛県松山市 佐藤 芽衣

ネコヤナギ冬芽の帽子かぶってた

愛媛県松山市 平田 樟太郎

投句総数 一三二五

市外 一〇三九

市内 二八六

投句者総数 七七〇

市外 六二七

市内 一四三

開函日 平成二十六年五月三十一日